大阪府優秀技能者表彰(なにわの名工)実施要領

大阪府優秀技能者表彰(なにわの名工)実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、大阪府表彰規則(昭和43年大阪府規則第12号)に基づき、広く社会一般に技能尊重 の気風を浸透させ、もって技能者の地位及び技能水準の向上を図るため、優秀な技能者の表彰の実施につい て必要な事項を定めるものとする。

(選考基準)

第2条 表彰候補者は次の各号のすべてに該当する者で、知事が適当と定めた者とする。

ただし、すでに憲法記念日知事表彰(労働関係産業功労者)及びこの要領による知事表彰を受けた者は除く。

- (1) きわめて優れた技能を有し、その技能が府内において第一人者として認められる者
- (2)表彰日現在、優秀な技能をもって、15年以上の実務経験を有し、かつ、その職業に従事している満年齢35歳以上の者
- (3)職業を通じて、後進技能者の指導、あるいは教育、訓練に携わり、技能者の育成に寄与したこと及び 技能に関する工夫、改善等によって生産性の向上に役立ったことなどにより、労働者の福祉の増進及 び産業の発展に寄与した者
- (4) 勤務成績、日常行為等において、他の技能者の模範と認められる者
- (5) 大阪府内に居住又は府内の事業所に勤務する者(自営業主及び家族従業者を含む)

(表彰の時期)

第3条 表彰は、原則として、毎年大阪府職業能力開発促進大会に行う。

(表彰の方法)

第4条 表彰は、表彰状を授与して行う。

(表彰の推薦手続)

- 第5条 市町村、各種産業団体の代表者は、第2条の規定に該当すると認められる者があるときは、次の書類 を添えて知事あて推薦するものとする。
 - (1) 表彰推薦書(様式第1号)
 - (2) 調書(1)(様式第2号の1)及び調書(2)(様式第2号の2)
 - (3) 道路交通法違反等による罰金刑の有無調書(様式第3号)
 - (4) 住民票の写し(本籍が記載されている本人のみのもの)
 - (5) その他の資料
 - ア 本人の事績に関する新聞、雑誌、業界紙の記事等
 - イ 本人の製作物、発明、考案、又は改善などに関する説明書、図面、写真等
 - ウ 特許、実用新案等については、発明者名(共同の場合は、担当分野を明らかにすること。)、所有権者 名、内容、取得年月日を明らかにする資料及び証書の写し(出願中の特許については、内容、出願番号、 出願日を明らかにする資料及び出願通知もしくは受領書の写し等)
 - エ 表彰状又は技能検定又は厚生労働大臣が認定する技能審査若しくは社内検定の合格証、ものづくりマイスターの認定証、その他資格試験に合格したことを明らかにする書類の写し

2 前項の推薦書等は、商工労働部雇用推進室人材育成課長(以下「人材育成課長」という。)あて提出するものとする。

(表彰状の様式)

第6条 表彰状の様式は、様式第4号によるものとする。

(被表彰者の決定)

第7条 専門的知識及び技能を有する有識者の意見を聴取するため、助言・評価の会を開き、以下の項目を評価する。この合計が6割に達したものを知事が被表彰者として決定する。

評価項目	着眼点	評価点
技能度	有する技能が極めて優れているか	70点
功績度	技能に関する工夫、改善等によって生産性の向上に役立っているか	60点
後継者育成度	職業を通じて、後進技能者の指導、あるいは教育、訓練に携わり、技能者の育成に寄与しているか	30点
技能の模範度	業務成績、日常行為等において、他の技能者の模範と認められ るかどうか	30点
現役度	現在、本人の技能を活かし、その職業に従事しているか	10点
	合 計	200点

なお、被表彰者の決定について、外部有識者の意見が必要な場合は、大阪府優秀技能者表彰アドバイザリー スタッフから意見を聴取することとする。

2 大阪府優秀技能者表彰アドバイザリースタッフに関し必要な事項は、別に定める。

(その他)

第8条 この要領に定めるもののほか、この要領の実施に関し必要な事項は、人材育成課長が別に定める。

附 則

この要領は、昭和54年4月 1日から施行する。

附則

この要領は、昭和61年4月 1日から施行する。

附 則

この要領は、昭和63年4月 1日から施行する。

附 則

この要領は、平成11年4月 1日から施行する。

附則

この要領は、平成12年4月13日から施行する。

附則

この要領は、平成14年4月 1日から施行する。

附 則

この要領は、平成16年4月 1日から施行する。

附 則

この要領は、平成17年4月 1日から施行する。 附 則

この要領は、平成18年4月 1日から施行する。 対 則

この要領は、平成19年4月 1日から施行する。 附 則

この要領は、平成20年9月 1日から施行する。 附 則

この要領は、平成21年4月 1日から施行する。 附 則

この要領は、平成24年3月 7日から施行する。 附 則

この要領は、平成25年4月15日から施行する。 附 則

この要領は、平成25年7月 3日から施行する。 附 則

この要領は、平成26年4月 1日から施行する。 附 則

この要領は、平成31年1月 4日から施行する。 附 則

この要領は、令和 2年1月15日から施行する。 附 則

この要領は、令和 3年3月22日から施行する。 附 則

この要領は、令和 4年3月31日から施行する。 附 則

この要領は、令和 5年3月31日から施行する。

大阪府知事 〇 〇 〇 様

(推薦者)

所在地(又は住所) 〒

団 体 名

代表者氏名

大阪府優秀技能者表彰の被表彰候補者について(推薦)

次の者を表彰されますよう、関係書類を添えて推薦いたします。

1/10/	日也以	平) (4	しよりより、関係音類を利	べん (1年)局(1)に しより。		
職	職	職	氏 名			
業	種	種	生年月日	 所属事業所名	技能・功績の概要	備考
部	名	名	(年齢)	771 /rsq 3 71C /771 E		VII3 3
門	(1)	(2)				

(担当者欄)		
担 当 者 名		
所 属	課	係
電話番号	- ()	· —
FAX番号	- ()	· —
メールアドレス		

大阪府知事 〇 〇 〇 様

(推薦者)

所在地(又は住所) 〒123-4567

大阪府○○市○○町○○番○○号

団 体 名 ○○法人

0000協会

代表者氏名 会 長〇〇〇

大阪府優秀技能者表彰の被表彰候補者について (推薦)

次の者を表彰されますよう、関係書類を添えて推薦いたします。

職業部門	職 種 名 (1)	職 種 名 (2)	氏 名 生年月日 (年齢)	所属事業所名	技能・功績の概要	備考
5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立·調整工	ぎのう しゅういち 技能 秀 一 昭和〇〇年〇月〇日 (〇〇歳)	○○電気(株) ○○工場	電子機器組み立てに関して極めて優れた技能を有しており、〇〇用シリコン整流器の試作・製作、〇〇高速道路〇〇トンネル集塵機の試作・製品化を担当するチームのリーダーを務めたほか、幾多の考案・改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に大いに寄与した。電気・電信関係の実技講習会の講師として〇〇年間務め、また、技能検定の実技指導員として〇〇名の合格者を輩出するなど、後進技能者の指導・育成に貢献した。※130字以上200字以内	

- ※ A4判用紙を使用すること。
- ※ (注)上記は、創作例示です。

(担当者欄)

担当者名 〇〇 〇〇

所 属 〇〇〇〇課〇〇〇〇係

電 話 番 号 06-(6111)-2222(内線1234)

FAX番号 06-(6111)-2223

メールアドレス NaniwanoMeiko@mbox.osaka.pred.lg.jp

・大阪府優秀技能者表彰(なにわの名工)

耳	敞業部門	職種名(1)							職種名(2)						
	りがな 名					職	歴	7	在職	期間]	在 年月		重複を除 く年月数	
	五 雅 号等)	()				年	月	日	年	月		
生	年月日	大正 昭和	年 (日 歳)										
		₹													
現	. 住 所														
														年 月	
		TEL		1											
					所全体の										
就	事業所名			10年 美	業 員 数 人										
業		₹													
地	所在地														
		TEL							ı						
									1	免許・	資格	等名	耳	文得年 月	
表								免							
								許							
								資							
								格等							
彰								,,							

書(1) (記載例)

職業部門	職 種 名 (1)			職	種 名		はまる	D職種のどれにあ ^っ るか不明な場合は、 炎ください。
5	電子応用機械器具組	且立工			電子	調整工			
ふりがな	ぎのう しゅういち	職 歴		在暗	規期 間	1	在年月	職	重複を除 く年月数
氏 名 (雅号等)	技 能 秀 一 (技 能 修)	△△電気(株)に電気	自昭	年 3 9	月 4	日 1	年 5	月 O	
生年月日 (大正 〇〇年〇〇月〇〇日 昭和 (〇〇 歳)	工として就職	至昭		3	31)]	11.5	
表彰が行われる日まの年齢を記入するこ	٤.	○○電気(株)○○工 場に電子機器組立工 として入社			3	1 16	3	11.5	
現住所	TO○○-○○○ 大阪府○○市○○町 ○丁目○番○号 TEL 06-6234-5678	同工場同組立工班長	自昭至昭		3 3	17 31	13	0.5	○○年 ○○月
本人を含む従業員	数を記載すること。	〃 作業長	自昭至平		4	1 3 1	3 3	0	
事業所名	○○電気で 従業員数 ○○工場 ○○ 人	ッ 係長と して現在に至る	自平至令		4 11	1		0	
地 所在地	〒○○○-○○○ 大阪府○○市○○町 ○丁目○番○号 TEL 06-6876-5432				Γį	高度熟練打	免許・資格等 支能者」等		
	対職業能力開発協会会長表彰(平成○年○○ 検定の推進貢献について表彰	D月)		5	<u>.</u> 免許	資格等	/ 等名	耳	文得年月
表 (2)科学社	技術庁長官表彰(平成○年○月) 用シリコン整流器の開発(創意工夫功労)		免許	(1	級配電級制御	盤組立技 盤組立技 算員免許 (電	定能士)	に必	検定委員はこのを ず記載し、全て確認を添付すること。
し、本	・プで受賞したものは記載しないこと。7 人の功績が著しいと認められるものは、そ 的に判断できるものを併せて添付するこ	それ	・資格等	毒物	(電 劇物取技 123456		組立) 般)	~平成 平成C	○○年○月 ◇○○年○月 ○○年○月 ○○年○月
77		技能に関係ない資格に 載しないこと。	虚	「○○用○○装置の考案」 出願中特許 234567				平成〇	○年○月 (出願年月)
				もの		マイスタ 電子機器		平成〇)〇年〇〇月

・大阪府優秀技能者表彰(なにわの名工)

調

職業部門		J	職	種	名	(1)				り	が	な										
											氏 (雅	叧	· <i>뙡</i>	名 ¥)										
						優		秀	7	な	·'		能	<i>′</i>		概	要							
技 能	の	概	要								 提要	•					大の村			現		役		性
	過	去	T.) ‡	隹	薦	口	数	ζ					後進	指	導育	成年	数						
年度			年月	变			年月	度	合	計	Ē	1					4	年						
推薦団体	(j	听在 地	也又	は信	E所))			•										ı					
又は	(-	名称	▽ 1°	1 F	夕)																			
推薦者					• µ /																			
	(-	推薦項	里由)	_	_					_		_	_	_	_	_	_	_		_	_	_	
推薦理由																								

・大阪府優秀技能者表彰(なにわの名工)

調

職業部門	・大阪府優秀技	能者表彰(な	(にわの名工)							
(雅 号 等) (技 能 修 を 修 を 修 を 修 を 修 を 修 を 修 を 修 を 修 を 修	職業部門	職種	名 (1)			ぎのう	しゅうい	ち		
接	5	電子応用機	械器具組立工			技	能秀			
技能の機要				(推 号	等)	(技	能修)		
一個			優秀	な技	能の	概要				
の同に持った参考は増・知高を有している。	技 能 の	概要	功績・貢南	犬の概要	後進指	導育成の概要	現	党 性		
・	半導体応用装置の製造	記に長年従事し、そ	1. ○○の安全輸送に	寄与	1. 電気・電	子関係の国家検定に実技	本人は、係長として	て、また、技術指導		
レスト、その中でも特に下述の技能に厳た	の間に培った優秀な技	記能・知識を有して	○○用のシリコン整	流器の試作・製作	指導員とし	て活躍し、これまでに1				
□ 1、ショコンスクック相立技能	いる。その中でも特に	下記の技能に優れ	を担当し、量産化・標	準化(平成○年○	00名を合	格させ、大阪府技能競技				
○○○田シリコン整成器の製作は、シリコンスタック組立の複数ボイントとなる。民は、セレン整成タック組立の複数ボイントとなる。民は、セレン整成タック組立 数のであるとの野種を得ている。 2. 減速運動とシルの電影と野の中から、シリコンスタック組立技能を会としい対策の場合という解験の書に寄与ら、シリコンと関連が圧力放とれに認め方。 一次 はこちととともに、○○中の理界大会、シリコンスタック和立技能を会との大力を必要があるとの野種を得ている。 2. 減速運動とシルの事態を発して、○○中の地域を含めた。 当然 対策が関係している。 2. 減速運動とシルの事態を発した。 一次 が、中央 品化を担当し、トンネル中の とない では、10人のでは、では、一次 のでは、では、大力に、一次 のには用とはている。 2. 減速運動との大力を必要がある。 2. 減速運動とのた。 また、対理公室を提出と、トンネル中の とない では、大力に、○○には用とはている。 2. 減速運動との大力を必要が表し、トンネル内の 影像 が変え及が安を通行に書かった。 2. 支 は、大力に、同用の自然環境特に果たした。 2. 支 は、大力に、 の で	ている。		月、科学技術庁長官表	彰) を図った。○	大会におい	て1位入賞者を10名輩				
リコンスタック組立の技能がポイントとなる。氏は、セレン整流スタック組立	1. シリコンスタック	組立技能	○用シリコン整流器は	こもその技能は活	出させた。					
となる。氏は、セレン整領スタック和立 の技術を習雑しその程験と研究の中から、シリュンは受加圧が成とれて認めた の、シリュンスタック和立技能を 生か出した。〇〇に後別まれているシリ コンスタックは、その技能が基礎となっ これが現性は継収く構學化されている。 2、 報報性技能 ともに、周囲の自然環境によったと に、周囲の自然環境によったした で割り、現在はでは、大きい。 に、温度と行う差配となるととから、 リリコンスタックルので を対した。〇〇に後別まれている。 の連旋を音及が変を当時に、トンネル内の の構成を音及が変を対けに高います。 カース度を単体した。〇〇年の世界大 会では、位子機・化されている。 の構成を音及が変を当時により、トンネル内 の混成に貢献し、現在の情報を建せた。 ともに、周囲の自然環境維持に来した で割り、現在して物理として物理にいる。 は、理解と行う基定となるととから、 リリ盟及名けに第において動格が、 選集と行う基定となるととしま の表の機能では、一般を行う基定となるととから、 リリエの大の内の表の学 (の時間) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	○○○用シリコン整	を流器の製作は、シ	かされ、品質と安全確	保上の貢献度が高	2. 技能五輪	出場者への指導を通じ、	現在、従事してい	る業務内容とその		
の技能を習謝しその経験と研究の中から、シリコン関定加圧方法となじ締め方と、のの単立 は 記述的の	リコンスタック組立の	の技能がポイント	いことにより、000	から信頼性の高い	工場よりこ	れまで20名を全国大会				
5、シリコン圏定加圧方法とは12締め方 定によるシリコンスタック組立技能を 生み出した。〇〇に使用されているシリ コンスタックは、その技能が基礎となっ たおり現在は相広く信誉化されている。 の機能・製能化を担当し、トンネル内の 信勢の情報を構成。 の機能・製能化を担当し、トンネル内の 信勢の情報に表した。 なた、規模の対とが開心。 ため、現在が書とびなを通行に寄与すると ともに、開門の自然機構に実たした 役別は、大きい。 3、海外における技能伝表 十里体に対接要をはしめ、集壊法師の に、配際を行う基礎となることがよ。 シリコンを設定対象となることがよ。 シリコンを設定対象となることがよ。 シリカント核ワークアート作業 電子製品の試作では、小型軽量化が重要 電子製品の試作では、小型軽量化が重要 で、その技となる監督者間のスキル向 上を図るべく、積極的に職業訓練指導 長を育成し、10名を合格させた。 3、ガリント核ワークアート作業 電子製品の試作では、小型軽量化が重要 電子製品の試作では、小型軽量化が重要 で、その技となる監督者間のスキル向 上を図るべく、積極的に職業訓練指導 長を育成し、10名を合格させた。 3、ガリント核ワークアート作業 電子製品の試作では、小型軽量化が重要 電子製品の試作では、小型軽量化が重要 で、その大きなどは、別様的に環報訓練指導 長を育成し、10名を合格させた。 10名を合格させた。 10名を合格させた。 11名でを発生なることにより、 の書で書との現地スタッフ アレート権において、新たな正述を 生み出し、東他は標準化され、多くの電 子側が製品に対し、高い報改技を全立・し、インバークなどの新製品の早期製品 化を果たした。また、その工法は、整定 にも応用され多大な資源を果たした。 近まの 推 薦 回 数 後進指導育成年数 2 1 年度 年度 合計 1 回 1 5 年 推薦団体 ス は 薦 者 の (係 第 又 は 任 第 者) (活 新 又 は 氏 名) (法 鹿 理 由) 配電 繁、削御繁組立をには めとする電子機器組立に関して極めて優れた技能を 石 し、後多の考案・改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与するとともに、後進技能者の指導・ 育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関して極めて優れた技能を伝承する	となる。氏は、セレン	整流スタック組立	製品であるとの評価を	得ている。	に出場させ	た。大会で1位に5名入				
会、シリコン固定加圧が注とねじ締めが	の技能を習練しその紀	経験と研究の中か	2. 高速道路トンネル	の環境改善に寄与	賞させたと	ともに、○○年の世界大	就業時間○時間			
法によるシリコンスタック観立技能を 生み出した(〇に使用されているシリコンスタックは、その技能が基礎となっており現在は幅広く標準化されているシリニンスタックは、その技能が基礎となっており現在は幅広く標準化されている。 と、東線製作と能 トランジスターインバータは、ノイズに別く、その機能は、東線製作と配線方 は、配線を行う基礎となることから、シリコンを被引を描れている。 リカンを被割組立の優れたノウハウを ペースに別した等を描れることにより、多様に通用する東線製作技能を伝表し、〇〇国のガンギー内との音をでは、の場を行うと呼ば、を持ちました。 カ出した。 3. ブリント板ワークアート作業 電子製品の試作では、小場解像化が重要課題とされる。中でもブリント板ので 一クアート作業におい、新な工法を 生み出し、規在は標準化され、多くの電子製のの場所と対し、イブリットで機能は活動した。その機能と生かし、現在は標準化され、多くの電子製品の可能の対象にの一クアート作業におけ、場所を信託する。 ・ 本東球場への貢献・ イブリットであります。 ・ 本東球場ないの言葉に対し、10名を合格させた。 ・ 本東球場ないの言葉に対し、10名を合格させた。 ・ 大変方となることがは、 大変では対ることにより、 多様的に単常調を指面した。 大の技となる監督者間のスキル向上を図るべく、模様的に単葉調解情等 長を育成し、10名を合格させた。 ・ 大変方となる監督者間のスキル向上を図るべく、模様的に単葉調解情等 長を育成し、10名を合格させた。 ・ 大変方とから、中でもブリント板のフークアート作業におい、新な工法を 生み出し、現在は標準化され、多くの電子製品の可能といる。 また、その工法は、最低には用きれている。 ・ 本東球場ないの言葉において、新な工法を 生み出し、現在は標準化され、多くの電子製品の可能との手間を ・ 本度 年度 合計 1 回 数 後進指導育成年数 2 1 年度 年度 合計 1 回 15 年 「所在地又は住所)〒123-4567 大阪府〇一市〇一町〇一番〇一号 (名称又は氏名) ・ 法人 〇〇〇・協会 会長 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ら、シリコン固定加圧	方法とねじ締め方	○○高速道路○○Ⅰ	トンネルの集塵器	会でも1位	入賞を果たさせるなど、		ク組立の技能指導		
コンスタックは、その技能が基礎となっ	法によるシリコンス	タック組立技能を	の試作・製品化を担当	し、トンネル内の	高い指導能	力を発揮した。	(○時間)			
また、排煙公害を排除し、トンネル内 の環境に再及いでからは検定委員として際に(電子機器・配置機能が)の環境に再及び安全曲行に寄与するとともに、周囲の自然環境場対に果たした ともに、周囲の自然環境場対に果たした ともに、周囲の自然環境場対に果たした ともに、周囲の自然環境場対に果たした ともに、周囲の自然環境場対に果たした ともに、周囲の自然環境場対に果たした ともに、周囲の自然環境場対に果たした ともに、周囲の自然環境場対に果たした ともに、周囲の自然環境場対に果たした で、その様となる監督者圏のスキル向 上を図るべく、積極的に職業訓練指導 員を育成し、10名を合格させた。	生み出した。○○に使	用されているシリ	自動車排煙集塵機能の	向上を図った。	3. 技能検定	補佐員として○年にわた		方法検討及び組立		
また、周囲の自然環境維持に果たした	コンスタックは、その	技能が基礎となっ	また、排煙公害を排	除し、トンネル内	り尽力し、	○○年からは検定委員と	(○時間)			
トランジスターインバータは、ノイズ に弱く、その機能は、東線製作と配線方 法に大きく左右される。特に、東線製作 は、配線を行う基礎となることから、シ 関地間え付け作業において蓄積された 大能を持ち基礎となることから、シ 関地間え付け作業において蓄積された 大能を活かし、〇〇国のブラント建設に 関鉱した。その機能に通用する東線製作技能を生 の、大の機能である。特に、東線製作技能を全 の、大の機能である。とから、シ 関地間え付け作業において蓄積された 大能を活かし、〇〇国のブラント建設に 関鉱した。その機能を伝承し、〇〇国のガラント建設に 関鉱した。その機能を伝承し、〇〇国の高い研 値を得た。 1. 地球環境への貢献 値を得た。 4. 地球環境では、小型軽量化が重 質を育成し、10名を合格させた。 位を得た。 4. 地球環境への貢献 値を得た。 4. 地球環境での貢献 値を得た。 4. 地球環境では、小型軽量化が重 質を育成し、10名を合格させた。 で、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に職業訓練指導 員を育成し、10名を合格させた。 で、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に現業訓練指導 員を育成し、10名を合格させた。 で、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に現業訓練指導 員を育成し、10名を合格させた。 で、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に現業訓練指導 員を育成し、10名を合格させた。 で、その核となる監督者のスキル向 上を図るべく、積極的に現業が書を関を育ると図とって、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に現業が書を関かて表と図として、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に現実訓練指導 関を育成と図との様となるとか言を音をの表と図るべく、積極的に果実訓練指導 関を育成と図るでくの様となるとか。ときることが、表述が書の言なと図との核となると言なの言なと図との表とといる、後進指導育成年数によるに表述を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与するとともに、後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承する	ており現在は幅広く標	摩化されている。	の環境改善及び安全道	通行に寄与すると	して検定(電子機器・配電盤組立)	3. 職業巡視と若	年者教育		
に弱く、その機能は、束線製作と配網方 法に大きく左右される。特に、束線製作 は、配線を行う基礎となることから、シ リコン整流器組立の優れたノウハウを ベースに応用と改善を重ねることによ り、多機簡に適用する束線製作技能を生 み出した。 3. ブリント板ワークアート作業 電子製品の試作では、小型軽量化が重 要課題とれる、中でもブリント板のワークアート作業にも、インバータなどの新製品の早期製品 生み出し、現在は標準化され、多くの電 子利卵製品に対し、高い組立技能を生かし、インバータなどの新製品の早期製品 化を果たした。また、その工法は、量産 子利の製品が作業において、新たな工法を 生み出し、現在は標準化され、多くの電 子製品の試作に違用されている。 過去の推薦回数 21年度 年度 年度 一方 「所在地又は住所)〒123-4567 大阪府○○市○○町○一番○一号 (名称又は氏名) (法藤理由)配電盤・制御盤組立をはじめとする電子機器組立に関して極めて優れた技能を有し、 幾多の考案・改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与するとともに、後進技能者の指導・ 育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関して極めて優れた技能を伝承する	2. 束線製作技能		ともに、周囲の自然環	境維持に果たした	の運営に貢	献し、現在も府技能検定				
法に大きく左右される。特に、束線製作 は、配線を行う基礎となることから、シ 現地照え付け作業において蓄積された 対 力・型整流器組立の優れたノウハウを 大地をを活かし、〇〇国のブラント建設に の、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に職業訓練指導 員を育成し、10名を合格させた。 5. 若手・中型技能者の育成を図る上 で、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に職業訓練指導 員を育成し、10名を合格させた。 5. 若手・中型技能者の育成を図る上 で、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に職業訓練指導 員を育成し、10名を合格させた。 7. その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に関業制のは図を図と で、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に関業制のは図を図と で、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に関業制のは図と図と図るに関連を図と図と図と図るに関連を図と図と図と図と図と図と図と図と図と図と図と図と図と図と図と図と図と図と図と	トランジスターイン	バータは、ノイズ	役割は、大きい。		専門委員と	して活躍している。	4. 冶工具類の考	案・製作		
は、配機を行う基礎となることから、シ リコン整流器組立の優れたノウハウを ベースに応用と改善を重ねることによ り、多機種に通用する束線製作技能を生 み出した。 3. ブリント板ワークアート作業 竜子製品の試作では、小型軽量化が重 要課題とされる。中でもブリント板のワークアート作業において、新たな工法を 生み出し、現在は標準化され、多くの電 子側の試作に適用されている。	に弱く、その機能は、	束線製作と配線方	3. 海外における技能	伝承	4. 中堅・若	手技能者の育成を図る上	(○時間)			
サコン整点器組立の優れたノウハウを	法に大きく左右される	。特に、束線製作	半導体応用装置をは	じめ、集塵装置の	で、その核と	なる監督者層のスキル向				
ペースに応用と改善を重ねることにより、多機艦に通用する束線製作技能を生力にその技能を伝承し、〇〇国の高い評価を得た。 3. ブリント板ワークアート作業電子製品の試作では、小型軽量化が重要課題とされる。中でもブリント板のワークアート作業において、新たな工法をといって、その域となる監督者層のスキル向したを目を高めていた。 は、インバータなどの新製品の早期製品を生力し、インバータなどの新製品の早期製品を生力し、現在は標準化され、多くの電子製品の試作に適用されている。 は、市場 回数 後進指導育成年数 21年度 年度 合計 1回 15年 年度 年度 合計 1回 15年 年度 作成 (所在地又は住所)〒123-4567 TEL ー ー 大阪府〇一市〇一町〇一番〇一号 (名称又は氏名) (名称又は氏名) (名称又は氏名) (推薦理由)配電盤・制御盤組立をはじめとする電子機器組立に関して極めて優れた技能を有し、幾多の考案・改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与するとともに、後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承する	は、配線を行う基礎と	なることから、シ	現地据え付け作業にお	いて蓄積された	上を図るべく	、積極的に職業訓練指導				
9、多機値に通用する束線製作技能を生み出した。 3. ブリント板ワークアート作業 電子製品の試作では、小型軽量化が重か出した。 4. 地球環境への貢献 スイブークアート作業 で、その核となる監督者層のスキル向 上を図るべく、積極的に職業訓練指導 員を育成し、10名を合格させた。 スイブークアート作業において、新たな工法を と、イガータなどの新製品の早期製品 化を果たした。また、その工法は、量産 上も応用されている。 にも応用され多大な貢献を果たした。	リコン整流器組立の優	むれたノウハウを	技能を活かし、〇〇国	のプラント建設に	員を育成し、	10名を合格させた。				
### ### ### ### ####################										
3. ブリント板ワークアート作業 電子製品の試作では、小型軽量化が重		束線製作技能を生		、○○国の高い評						
電子製品の試作では、小型軽量化が重 アイブリットや燃料電池に搭載する電 子制御製品に対し、高い組立技能を生かし、インバータなどの新製品の早期製品 生み出し、現在は標準化され、多くの電 化を果たした。また、その工法は、量産 にも応用されている。 にも応用されを大な貢献を果たした。										
要課題とされる。中でもブリント板のワークアート作業において、新たな工法を 生み出し、現在は標準化され、多くの電 子製品の試作に適用されている。					員を育成し、	10名を合格させた。				
- クアート作業において、新たな工法を 生み出し、現在は標準化され、多くの電 子製品の試作に適用されている。		, ,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
生み出し、現在は標準化され、多くの電										
子製品の試作に適用されている。 にも応用され多大な貢献を果たした。 過 去 の 推 薦 回 数 後進指導育成年数 2 1 年度 年度 年度 合計 1 回 1 5 年		.,.,,	·							
過去の推薦回数 後進指導育成年数 21年度 年度 年度 合計1回 15年 推薦団体 又は推薦者 (所在地又は住所) 〒123-4567 TEL										
21年度 年度 年度 合計 1回 15年 推薦団体 又 は 推薦者 (所在地又は住所) 〒123-4567 大阪府○○市○○町○○番○○号 (名称又は氏名) ○○法人 ○○○協会 会長 ○ ○ ○ ○ 推薦理由 (推薦理由)配電盤・制御盤組立をはじめとする電子機器組立に関して極めて優れた技能を有し、 幾多の考案・改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与するとともに、後進技能者の指導・ 育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承する	一 大阪山のATFに週用さ	11 (V 'S.	にも応用され多人な貝							
推薦団体 又 は 推薦 者 (所在地又は住所) 〒123-4567 TEL 大阪府○市○町○番○号 (名称又は氏名) (名称又は氏名) (名称又は氏名) (名称又は氏名) (推薦理由) 配電盤・制御盤組立をはじめとする電子機器組立に関して極めて優れた技能を有し、幾多の考案・改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与するとともに、後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承する	造	・ 去の 打	推薦 回数		後進	指導育成年数				
##原団体 又は は (名称又は氏名) (名称又は氏名) (名称又は氏名) (推薦理由)配電盤・制御盤組立をはじめとする電子機器組立に関して極めて優れた技能を有し、 幾多の考案・改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与するとともに、後進技能者の指導・ 育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承する	2 1 年度	年度	年度	合計 1 回		15 年				
 ス は 推薦者 (名称又は氏名) (金称又は氏名) (金藤) (金藤	*************************************	所在地又は住	E所)〒123-	4567		TEL	_	_		
推薦者 (名称又は氏名)			大阪府○○)市〇〇町〇(○番○○号	-				
(推薦理由)配電盤・制御盤組立をはじめとする電子機器組立に関して極めて優れた技能を有し、 幾多の考案・改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与するとともに、後進技能者の指導・ 育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承する	(名称又は氏	名)							
推薦理由 幾多の考案・改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与するとともに、後進技能者の指導・ 育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承する	作 <i>馬</i> 有 ○	<u>〇法人</u>)()()()()()()()()()()()()()()()()()()(会長 〇	<u> </u>					
推馬埋田 育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承する		推薦理由)配	電盤・制御盤組	立をはじめと	する電子	機器組立に関して	極めて優れた	技能を有し、		
育成に貢献した。以上のことから、本被推薦者は、電子機器組立に関する優れた技能を伝承する	 推薦理由 幾	多の考案・改	善を行い、生産	効率の増進、	安全確保等	等に寄与するとと	もに、後進技能	能者の指導・		
など多くの実績があり、府内の第一人者として推薦する。	1世紀年日 育	成に貢献した	こ。以上のことか	いら、本被推薦	善者は、電	子機器組立に関す	トる優れた技育	能を伝承する		
CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR O	な	ど多くの実績	責があり、府内の)第一人者とし	て推薦す	⁻ る。				

(調書(1)、調書(2)記載要領)

本調書は、被表彰候補者の選考のための基本票となるので、記載事項は同様式により簡潔明瞭、かつ、的確に所定欄に記入すること。

なお、調書(2)中「優秀な技能の概要」の各項目の欄について、一葉で記入することが困難な場合は、二葉以上になっても差し支えないこと。ただし、二葉目以降は、職業部門、職業名(1)及び氏名を記入の上、不要な欄の項目名を、必要な項目名に変更し設けること。

【調書1】

1「職業部門」欄

被推薦者が従事する職業の職種が属する大阪府優秀技能者表彰実施要領(以下「要領」という。)別表に定める職業部門の番号を記入すること。

2 「職種名(1)及び(2)」欄

被表彰者が従事する技能に係る職種が属する要領別表に例示している職種名を参考に記入すること。なお、要領別表は、厚生労働省編職業分類の小分類及び細分類に準じた例示であること。

3「氏名」欄

<u>戸籍に記入されている字画で</u>氏名を記入し、ふりがなを付けること。特に、旧字、新字、 略字等は、大きく楷書で正しく記入すること。

なお、雅号等がある者については、その雅名などを氏名の下に () 書きで記入すること。

4「生年月日」欄

戸籍に記載されている生年月日を記入し、()内に<u>表彰の行われる日現在の満年齢</u>を記入すること。

5「現住所」欄

現住所、郵便番号、電話番号を略さずに記入すること。

6「就業地」欄

「事業所名」欄には、雇用されている場合にあっては、雇用事業所名を、自営している場合にあっては、屋号等を、また、「所在地」欄には、所在地、郵便番号、電話番号を略さずに記入すること。

7「職歴」欄

(1)「職歴」欄

就業先事業所の名称、職務内容、地位及び役職など異なる職歴ごとに記入すること。 なお、団体などにおける職歴、公職歴及び団体歴のうち、本表彰と直接関係がないものは、 記入しないこと。

(2)「在職期間」欄

その職の始期及び終期を記入すること。

なお、現職については、表彰予定日をもって終期とすること。

(3)「在職年月数」欄

半月単位で計算した在職年月数を記入すること。

ただし、月の途中で就職又は離職をした場合の計算は、月の15日以前に就職をしたものは初日に、月の16日以降に就職したものは16日に就職したものとみなし、15日以前に離職したものは15日に、16日以降に離職をしたものには末日に離職をしたものとみなし計算すること。

(4)「重複を除く年月数」欄

表彰に係る技能を有する職種に従事していた期間の合計を記入すること。ただし、同一の時期に2以上の職にあった場合及び前項で就職又は離職とみなしたため同一の時期に2以上の職にあったとみなした期間を一方の職から除外すること。

8「表彰」欄

表彰(技能に関連して表彰等を受けたもののみ記入すること。)別に受賞年月日及びその 事由を記入すること(表彰を証する書面の写しを添付すること)。

9「免許・資格等」欄

免許、資格、特許及び実用新案等を有する者については、その種類と取得年月を(出願中の特許がある場合はその出願番号と出願年月を)、また、技能検定に合格している者については、技能士の名称(○級○○技能士)を記入すること。

なお、本表彰と直接関連がない一般の自動車免許等は記入しないこと。

なお、職業訓練指導員免許の取得歴もしくは技能検定委員の委嘱歴について、該当する場合 はその種類と取得(委嘱)年月を本欄に記載すること(免許や委嘱等を証する書面の写しを 全て添付すること)

【調書2】

1「優秀な技能者の概要」欄

その者の有する技能の概要、考案及び改善等の功績・貢献の概要及び後進技能者の指導・ 育成の概要について、その優秀性が的確に把握できるよう、次に掲げるところにより記入 すること。

(1)「技能の概要」及び「功績・貢献の概要」欄

それぞれ事項を見出し書きし、その事項について、下記(2)及び(3)により、無意味な修飾語を用いることなく具体的に記載すること。 また、一般的でない文字・用語等については、ふりがな及び簡単な説明(別葉と

しても可)を付すこと。

(2)「技能の概要」欄

関連する他の資料に合わせて、<u>被推薦者の従事する職種、技能の水準、範囲、</u>特徴あるいは他の技能者との比較等の観点から優秀な技能を有するものであることが判定できるよう、特に技能の質的な面を中心に具体的に記入すること。

記述に当たっては、客観性(単に「非常に優れている」ではなく、どのように優れているのか数値で表す等)、明確性(改善実績における本人の技能の関わりの明示等)を心がけること。また、被推薦者の功績・経歴が中心となっているケースが見られるので注意すること。

(3)「功績・貢献の概要」欄

関連する他の資料に合わせて、その者が当該技能をもって製作又は建造等をしたもので、当該技能者の技能の程度の判断に資するとともに、企業、産業界及び社会に対する貢献度等において高く評価されているような代表的な事績について具体的に記入すること。

(4)「後進指導育成の概要」欄

被推薦者が後進の指導・育成にあたった方法、対象及び範囲等について具体的に記述すること。

(5)「現役性」欄

被推薦者が現役の技能労働者であるかを確認するため、その者の有する技能に関連した職種に専ら就業しているか否かなどを具体的に記入すること。

2 「過去の推薦回数」欄

被推薦者が過去において優秀な技能者表彰の候補者として大阪府知事に推薦したことのある年度を記入するとともに、その合計回数を記入すること。

なお、初めての推薦の場合は「0」を記入すること。

3「後進指導育成年数」欄

被推薦者が後進の指導・育成にあたった年数を記入すること。

4 「推薦団体又は推薦者及び推薦理由」欄

被推薦者を推薦した団体など又は推薦者の所在地又は住所、郵便番号、電話番号及び団体名又は氏名並びにその推薦理由を記入すること。

年	月	日

大阪府知事	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	\bigcirc	様

推薦団体名 代表者氏名

道路交通法違反等による罰金刑の有無調書

知事表彰被表彰候補者として推薦する候補者に係る標記については、調査の結果、下記のとおりです。

記

1. 候 補 者

氏名主要職名

2. 罰金刑の有無

有 (

無

- 注)1. 道路交通法違反とは、道路交通法違反及び自動車の保管場所の確保等に関する法律違反を指す。
 - 2. 罰金刑有の場合は、括弧内に刑の確定日、金額、内容等把握している事項について記入すること。 なお、表彰日現在で刑の確定日から5年を経過したものについては、記入する必要が無い。

表 彰 状

様

あなたは多年優秀な技能をもって後進の指導と技能水準の向上に努め労働者の福祉の増進及び産業 の発展に寄与し他に模範を示されましたので優秀技能者として表彰します

年 月 日

大阪府知事 氏 名